

平成30年度 栃木市広島平和記念式典中学生派遣報告会（H30.8.24）

「被爆講話学習」 E班

・講師の方の紹介、講話の内容 早乙女愛佳（藤岡第二）

中国新聞社で、末岡昇さんという講師の方の被爆者体験を聴きました。末岡さんは現在80歳で、小学校1年生のときに被爆しました。当時、広島には、35万人の人々がいて、原子爆弾によって、14万人が亡くなったといわれています。原爆が投下された時刻は8時15分、多くの方は、学校や仕事へ行っていたそうです。末岡さんの母は、妹たちを連れて避難していました。末岡さんは8月5日には戻るとい祖父との約束で、母に会いに行きました。しかし、5日に帰りそびれ、6日に、爆心地から少し離れた海岸で、海を見ていました。すると突然、強い光が、（広島市内の）家のある方向に見えたと言います。末岡さんの家は、爆心地から800メートルのところにありました。末岡さんは、走って（母たちが避難している）家に向かいました。もし、祖父との約束を守っていたら、死んでしまっていたかもしれません。

末岡さんは、原爆の記憶を無くしたいと思っていました。でも、核兵器のない世界にするには、語り継がなくてはならないと思い、やっと、家族について話せたそうです。

「一発の原爆で、大切なものが消えた。広島、長崎の原爆は繰り返してはならない。」

末岡さんは、強く世界平和を願い、そのために辛い体験を私たちに話してくださいました。

・講話を聞いた感想① 片柳和輝（栃木南）

僕は、この講話を聞き、原子爆弾の恐怖を改めて思い知りました。

「一発の爆弾で、一つの町が壊れる。」

この言葉から、原爆がもたらす被害とその悲惨さがとても伝わってきます。たった一発の原子爆弾であれほどまでの死者を出し、都市を破壊する力を持つ、こんなものが世の中に存在してはいけないと思うほど、恐怖が伝わってきました。

講師の末岡さんは、今でも国同士の争いで核兵器が使われることがあると話していました。一国を滅ぼすような凶悪兵器である原子爆弾は使ってはいけないし、何よりも二度と広島、長崎に投下された原爆の悲劇を繰り返してはいけないと強く思いました。

この原子爆弾の恐怖を、今の社会全体に伝えていき、二度と核兵器のない世の中にしていきたいと思いました。

・講話を聞いた感想② 小川琉翔（都賀）

僕は今回、祖父が実際に被爆したという末岡さんからお話を聞きました。これまで僕は原爆の話テレビや本などで見たことはありましたが、どこか自分とは遠い話だと思っていました。しかし、今回被爆講話を聞いて身近な話だと感じ胸が痛くなりました。

この場所で73年前に約14万人の多くの人々が命を落とし、また今でも被爆の後遺症に苦しんでいる方がいる事を思うと、平和の大切さを強く感じました。

僕は今回聞いた話を家族や学校の友達に伝え多くの人に知ってもらいたいです。そうすることによって戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさ、平和であることがどれだけすばらしい事かを感じてもらえると思います。

最後に僕はこの貴重な講話をしてくれた末岡さんに感謝し、今度は末岡さんの代わりにこの体験を伝えていきたいと思いました。

・講話を通して学んだこと① 田中萌百音（栃木東）

今回、初めて被爆された方のお話を実際に聞いて、本当に戦争があったのだと改めて感じました。

末岡さんは、小学校一年生の時に被爆しました。自分が小一の時被爆していたら…と、考えると怖くてたまりませんでした。家族や友人、大切なひとがたった一つの原子爆弾で亡くなってしまふ恐ろしさは、体験した方しか分かりませんが、今までずっとそばにいた人が突然いなくなってしまうと考えると、胸が痛くなります。体験したことの無い私でさえ考えるだけでもつらいのに、実際体験した末岡さんや被爆者の方たちは相当つらかったことでしょう。

私は、今回講話を聞いて、原爆の恐ろしさはもちろんですが、それ以上に知人が原子爆弾で亡くなる恐ろしさを学ぶことができました。もう二度と原子爆弾が使われないよう、戦争が起らないよう、私たちが日本の、そして世界の平和を守っていきたいです。

・講話を通して学んだこと② 石井伶奈（吹上）

今回の講話を通して学んだこと、それは、命の尊さ、核兵器の恐怖、戦争は絶対にくり返してはいけないということです。

たった一発の原子爆弾で14万人の命が奪われました。そして73年経った今もなお、苦しんでいる人がいます。生きてくても生きられなかった人たちの分まで私は今あるこの命を大切に生きたいと思います。

先ほど言った通り一発の原子爆弾によって14万人の人が亡くなりました。みんな「死」というものに無感情になってしまったとおっしゃっていました。核兵器は体だけではなく心も殺してしまう恐ろしいものなんだとあらためて感じました。

そして戦争は絶対にくり返してはいけないと深く学びました。戦争をやっていることは一つもありません。多くの人が苦しみ悲しい思いをするだけだと思います。

今世界には核兵器を保有してる国や戦争をしている国があります。そういった国の人たちに核兵器の怖さ、戦争の悲惨さを知ってもらいたいです。そのために私は身近な人から、今回の広島派遣で学んだことを広めたいと思います。